公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

２０２２年度事業報告

Ⅰ　概要

２０２２年度は新型コロナウイルス感染症の流行も治まりつつあり、ハンググライダーもパラグライダーも日本選手権等の競技を開催することができました。ＪＨＦ総会、理事会、委員会についてはリモート参加も利用したハイブリッド型の会議が一般化しましたが、リアル参加者の増加により会議はより活発になりました。

残念ながら重大事故が発生しましたが、パラグライディング、ハンググライディング教本の改訂版発行、安全セミナーの開催等で一層安全に対する啓蒙活動を進めていきます。

1.　収支の現状

２０２２年度は、会員数が 3.7%減少したことにより会費収入が約２５０万円減収しました。競技会開催や委員会活動は新型コロナ感染症拡大前の状況に戻りつつありますが、未消化の事業がありました。システム見直し、効率化による固定費削減等を引き続き検討し、堅実な運営を進めます。

2.　組織運営等

１）教員検定員研修検定会を３月２日～３日に開催、２３名が参加
１）教員検定員による教員助教員更新講習会を１２カ所で開催、６８名が受講
２）レスキューパラシュートリパック更新講習会を１２カ所で開催、５９名が受講
３）教員技能証学科検定については集合研修検定を２月１９日～２０日に開催　８名受検
４）上級タンデム検定会を開催　１２カ所　１４９名受検
５）第９回ＪＨＦフォトコンテストを開催
６）創設４０周年記念イベント「フライ-イン紀の川」を開催

3.　特記事項

１）第４４回鳥人間コンテスト選手権大会を協賛
　７月２３日（土）～２４日（日）　滋賀県彦根市松原水泳場周辺
２）一般財団法人日本航空協会の航空スポーツ教室「スカイ・キッズ・プログラム」の第４８回
　１１月２３日　長野県ハング・パラグライディング連盟が協力
３）後援体験会
　４月１６日～１７日　日本学生フライヤー連盟関東支部　ハンググライダー、パラグライダー体験会
　５月２１日　ふくしまスカイパーク　ハンググライダーＶＲ体験
　１０月２９日～３０日　栃木県みかも山公園　パラグライディング地上体験会
　１１月５日　熱海市姫の沢公園　スポーツフェスティバル　パラグライダー体験会
　１１月２０日　スカイフェスタ２０２２in 筑後大堰　パラグライダー体験会
４）第２７回スカイスポーツシンポジウムを協賛
　１２月　３日（土）　オンライン開催

Ⅱ　事項別状況

1.　組織

（1）　会員数
　ア　正会員　４７
　イ　フライヤー会員　６，２４２名（２０２３年３月末有効登録数）
　ウ　賛助会員　１２

(2)　役員構成

理事　８名（内会長１名、副会長２名）　　監事　２名（２０２３年３月末現在）

２．会議等の開催

（１）　総会

２０２２年　　６月通常総会

開催通知　　２０２２年４月　６日（水）

開催日　　２０２２年６月１４日（木）　１３：００～１６：００

開催場所　　TKP 九段下神保町　ビジネスセンター　３Ａ

（東京都千代田区神田神保町）

議案　報告事項１　２０２１年度事業報告について

報告事項２　２０２１年度決算報告について

決議事項１　貸借対照表及び損益計算書の承認について

報告事項３　２０２２年度事業計画について

報告事項４　２０２２年度収支予算について

決議事項２　ＪＨＦ役員選任規約一部改正について

（２）　理事会

ア　第１回理事会　開催日　　５月１３日（出：理事７、監事２）(内リモート：4)

イ　第２回理事会　開催日　　９月　５日（出：理事８、監事２）(内リモート：3)

ウ　第３回理事会　開催日　１２月　９日（出：理事８、監事１）(内リモート：0)

エ　第４回理事会　開催日　　３月　８日（出：理事８、監事１）(内リモート：1)

文書理事会　開催日　４月６日、５月１９日、６月１日、７月４日、８月２４日、９月１２日、１０月３日、１０月２７日、１０月２８日、１１月３０日、１２月１２日、１２月２６日、１２月２７日、２月６日、２月２４日、３月２７日

（３）委員会

ア　ハンググライディング競技委員会　１０月８日、２月１５日、他競技会開催時に実施

イ　パラグライディング競技委員会　　５月３０日、他競技会開催時に実施

ウ　補助動力委員会　　５月２４日、６月２８日、７月２０日、８月２２日、９月２１日、１０月１６日、１月１７日、３月１４日

エ　教員・スクール事業委員会　　４月１１日、１２月２６日、１月１１日

オ　安全性委員会　　８月３１日、１０月２７日、１２月１４日

カ　制度委員会　　６月７日

キ　ハングパラ振興委員会　　５月１８日、１０月２６日、１月２５日

ク　役員選任実行委員会　　２月８日、３月９日

ケ　委員長理事合同会議　　２月２１日

リモート会議を中心に、ＳＮＳや電子メール会議を実施し、経費削減に努めた。

３．事業の実施状況

（１）普及振興活動

ア　JHF レポートを発行（４月、７月、１１月、１月）

(独立行政法人日本スポーツ振興センター・スポーツ振興くじ助成を受けて発行しています)

イ　都道府県連盟事業費の交付

ウ　日本学生フライヤー連盟へ助成金交付

（２）フライヤー会員登録

登録数：２０２２年度　４，６９２名（新規・更新）
２０２１年度　４，８７３名

（３）技能証発行

ア　ＨＧ：　　１０５枚　（２０２１年度　　１１７枚）
イ　ＰＧ：　　７１５枚　（２０２１年度　　７９８枚）
ウ　ＭＰＧ：　　３枚　（２０２１年度　　９枚）
エ　レスキューリパック認定証　　５２枚　（新規１０・更新４２）

（４）競技会の主催・公認・後援

ア　ＨＧ：　１２件　（内ＦＡＩカテゴリーⅠ・Ⅱ：８件）
イ　ＰＧ：　２２件　（内ＦＡＩカテゴリーⅠ・Ⅱ：２件）
ウ　ＨＧ・ＰＧ同時開催：　　１件

（５）競技会の開催

ア　ＨＧ：

1　日本選手権
１月８日～１０日　　静岡県　富士宮市　朝霧エリア
参加４８名　日本選手権者：田中元気　女子日本選手権者：不成立

2　クラスＶ日本選手権
４月７日～１０日　茨城県　石岡市　足尾山エリア
参加１５名　日本選手権者：古坂学俊

3　ハンググライディングシリーズ（参加人数７５名）
第１位　小梶渓太　女子第１位　野尻知里

4　ハンググライディングフライトコンテスト

ストレートディスタンス	クラスＶ	１位	山本　剛	（１９５．７ｋｍ）
	クラスＩ	１位	石坂繁人	（１７９．９ｋｍ）
アウトアンドリターン	クラスＶ	１位	松田隆至	（１１３．６ｋｍ）
	クラスＩ	１位	大山真哉	（　５４．０ｋｍ）
トライアングル	クラスＶ	１位	山本　剛	（１４０．５ｋｍ）
	クラスＩ	１位	鈴木博司	（　８６．９ｋｍ）
デュレーション		１位	児玉智雄	（１１：０２）

イ　ＰＧ：

1　日本選手権
９月１６日～１９日　茨城県　石岡市　足尾山エリア
参加７５名　日本選手権者：小梶渓太　女子日本選手権者：平木啓子

2　アキュラシー日本選手権
１２月３日～４日　静岡県　富士宮市　猪之頭エリア
参加３６名
日本選手権者：平野竜二　女子日本選手権者：山口香代

3　ジャパンリーグ(参加人数１３７名、成立大会７）

オープンクラス	１位：小梶渓太
オープンクラス女子	１位：平木啓子
スポーツクラス	１位：氏田敏彦

ジャパン２リーグ（参加人数１１５名、成立大会２）

総合	１位：石黒信一郎
女子	１位：鈴木　彩
チーム	１位：ソラ＆ドロシー

クロスカントリーリーグ（５９名　１１２６本）
１位：多賀純一（４６１．４ｋｍ）
最長フライト　　小林大晃（１５０．７ｋｍ）

アキュラシージャパンリーグ（参加人数７４名、成立大会５）

スクラッチクラス	１位：和田浩二
スクラッチクラス女子	１位：橋本みさ紀
ハンディキャップクラス	１位：和田浩二
学生クラス	１位：内野僚太
チーム	１位：ぴよぴよ

（６）スクール・エリア情報の収集及び公開

ア　スクールサイト登録校　　４５件

イ　エリア情報掲載　　１８１件

（７）海外関係団体活動

ア　ＣＩＶＬ総会　２０２３年3月２日～６日

ポルトガル　＋　リモート（ＺＯＯＭミーティング）

出席者：デレゲイト　岡　芳樹、オルタネート　牟田園明（リモート）

（８）世界選手権等へのチーム派遣

ア　第４回ＦＡＩパラグライディング・アキュラシー・アジア選手権

参加選手：７名

６月２１日～２９日　カザフスタン

（９）その他

ア　機体型式登録　　０件（ＰＧ　　０件、ＨＧ　０件）

イ　機体情報登録　　０件（ＰＧ　　０件、ＨＧ　０件）

添付：　２０２２年度　委員会活動報告補足

以上

＜　２０２２年度委員会活動報告補足　＞

ハンググライディング競技委員会　　委員長　牟田園　明

１）ルールブックの改訂

２）委員会ホームページの運営

公認大会の情報、ハングシリーズ大会のエントリー情報の更新は随時実施

３）2022年ハンググライティング・クラスⅠ日本選手権開催（静岡県　朝霧エリア）

2022年1月8日～10日　48名参加　タスク3本成立

日本選手権者：田中元気、2位　砂間隆司、3位　松永大輝

女子は成立要件を満たさなかったため不成立

４）2022年クラスV日本選手権開催（茨城県　石岡市　足尾山エリア）

2022年4月7日～10日　15名参加　タスク4本成立

日本選手権者：古坂学俊、2位　岩崎正芳、3位　宍戸俊之

５）ハンググライディングシリーズ管理運営

参加人数　75名

総合　1位　　小梶渓太、2位　大門浩二、3位　砂間隆司

女子　1位　野尻知里、2位　佐野容子、3位　櫻井さやか

クラスV　1位　　板垣直樹、2位　古坂学俊、3位　宍戸俊之

６）フライトコンテストの運営

ストレートディスタンス

クラスⅠ	1位	石坂繁人	179.9km	2位	服部良亮	163.7km	3位	砂間隆司	151.4km
クラスⅤ	1位	山本剛	195.7km	2位	松田隆至	188.4km	3位	宍戸俊之	181.8km

アウトアンドリターン

クラスⅠ	1位	大山真哉	54.0km	2位	鈴木博司	51.4km	3位	鈴木あき子	48.8km
クラスⅤ	1位	松田隆至	113.6km	2位	山口裕之	98.5km	3位	古坂学俊	93.7km

トライアングル

クラスⅠ	1位	鈴木博司	86.9km	2位	大山真哉	62.2km	3位	田中元気	45.1km
クラスⅤ	1位	山本剛	140.5km	2位	佐々木則生	105.3km	3位	松田隆至	99.8km

デュレーション

	1位	児玉智雅	11:02	2位	鳥羽岳太	10:45	3位	山本剛	5:34

７）各種大会のＪＨＦ公認および後援申請に対する審議および承認

８）SNSによる情報発信

９）競技レベルの向上を目的とした事業「日本ハンググライディング競技者育成プログラム」の立上げ

(ア)ハングシリーズ大会の運営支援（2022年7月、山形県　十分一山エリア）

(イ)スポーツクラス大会の開催（2022年8月、茨城県　足尾山エリア）

(ウ)競技練習会の開催（2022年10月、静岡県　七曲エリア）

(エ)Webセミナーの開催（2022年3月、7月、8月、11月）

パラグライディング競技委員会　　委員長　岡　芳樹

１）ルールブックの改訂

２）ＷＥＢ事務局・ホームページ管理

３）第４回アキュラシーアジア選手権（カザフスタン、Taldykorgan：２０２２年６月２１日～２９日）へ選手派遣（男子４名、女子３名：岡　芳樹、古賀光晴、平野竜二、浅田寛之、山口香代、橋本みさ紀、伊藤まり子。参加選手数：７０人（内女子１３人）。参加国：１２か国。

総合１位：Jirasak Witeetam（タイ）、２位：Mohsen Mansouri（イラン）、３位：Nawaf Al-rehaili（サウジアラビア）、４２位：岡　芳樹、４５位：橋本みさ紀、４９位：山口香代、５１位：浅田寛之、５６位：伊藤まり子、５８位：古賀光晴。５９位：平野竜二。

女子１位：Chatika Chaisanuk（タイ）、２位：Donghwa Yang（大韓民国）、３位：Eunyoung Cho（大韓民国）、７位：橋本みさ紀、８位：山口香代、１１位：伊藤まり子。

国別１位：タイ、２位：大韓民国、３位：カザフスタン、５位：日本。

４）Ｊリーグ、Ｊ２リーグ、ＸＣリーグ、ＡＪリーグ管理

・Ｊリーグ結果（参加人数１３７名、成立大会７）

オープンクラス　　１位：小梶渓太、２位：小林大晃、３位：上山太郎

オープンクラス女子　　１位：平木啓子、２位：山下敦子、３位：成山奈緒

スポーツクラス　　１位：氏田敏彦、２位：長島信一、３位：中川喜昭

・Ｊ２リーグ（参加人数１１５名、成立大会２）

総合　１位：石黒信一郎、２位：前島聡夫、３位：力石一穂

女子　１位：鈴木　彩、２位：菊田久美、３位：鈴木淳子

チーム　１位：ソラ＆ドロシー、２位：TEAM 沢の霧、３位：宮田組

・ＸＣリーグ（５９名、１１２６本）

１位：多賀純一（461.40km）、２位：前島聡夫(448.22km)、３位：小林敦之(425.84km)

最長フライト：小林大晃(150,7km)

・ＡＪリーグ（参加人数７４名、成立大会５）

スクラッチクラス　　１位：和田浩二、２位：平野竜二、３位：河本勇吉

スクラッチクラス女子　　１位：橋本みさ紀、２位：伊藤まり子、３位：山口香代

ハンディキャップクラス　１位：和田浩二、２位：河本勇吉、３位：古田岳史

学生クラス　　１位：内野僚太、２位：永井勇真、３位：

チーム　１位：ぴよぴよ、２位：スカイ朝霧、３位：おむすび丸

５）２０２２年度ＸＣ日本選手権開催（茨城県足尾エリア）２０２２年９月１６～１９日

２本成立。７５人参加（内１人海外選手）規定により日本選手権として成立。

日本選手権総合１位：小梶渓太、２位：岩谷勝弘、３位：宮田清和、４位：小林大晃、５位：岩﨑拓夫、６位：平木啓子

日本選手権女子１位：平木啓子、２位：成山奈緒、３位：金本知子

６）２０２２年度アキュラシー日本選手権開催（静岡県猪之頭エリア）２０２２年１２月３～４日

９ラウンド成立　３６人参加（内４人海外選手）規定により日本選手権として成立。

日本選手権総合１位:平野竜二、２位:浅田寛之、３位：和田浩二、４位：蔀　哲行、５位：古田岳史、６位：花田　瞬。

日本選手権女子１位：山口香代、２位：橋本みさ紀、３位：高橋美佳。

安全性委員会　　委員長　伊尾木　浩二

１）２０２２年度事故件数　　ＰＧ　３１件（内重大事故５件）
　　ＭＰＧ　６件（内重大事故３件）
　　ＨＧ　　２件（内重大事故０件）

２）事故報告書の作成
・R4/7/14 発生　中日パラグライダースクール事故報告書（担当：伊尾木）
・R4/10/1 発生　PPG 湘南平塚における MPG 重大事故報告書（担当：橋田）
・R5/2/5 発生　MPG 広島県溺死事故報告書（担当：補助動力委員長　賀家）
・R5/3/5 発生　PG 大分における重大事故報告書（担当：小林）

３）セーフティーノーツの管理（担当：竹村）
・定期的にＤＨＶ、ＢＨＰＡ等の情報を確認し、可能な範囲でウエブに反映

４）安全性委員会ホームページ状況管理（担当：伊尾木）
・定期的に確認

５）ＪＨＦレポートに記事の掲載
・236 号　2021 年事故状況（執筆：伊尾木）
・237 号　『もったいない』事故を無くすために（執筆：伊尾木）
・238 号　MPG 体験ﾀﾝﾃﾞﾑﾌﾗｲﾄについて（安全性委員会）
・239 号　『もったいない』事故をゼロにする（執筆：伊尾木）
・240 号　2022 年事故状況（執筆：伊尾木）、
　　ライザー、ハーネスの『ながら装着』は NG!（担当：目黒）

６）ＪＨＦウエブページによる注意喚起情報の提供
3/1 レッグベルト付け忘れによる注意喚起
6/10 MPG タンデムフライトの注意喚起
9/8 体験フライトに対する注意喚起

７）チェック５タグの普及促進を継続（安全注意喚起）
【５項目】レスキューピン、ラインチェック、バックル（レッグ→チェスト）
　　無線機（通信→ロック）、風の状況

８）機体登録の簡易化（竹村）進展あり。ＷＥＢ登録の準備中。

９）レスキューリパックテキスト改訂

１０）PG パイロット安全セミナーテキスト改定予定で検討中

１１）MPG パイロット安全セミナーテキスト改訂予定で検討

１２）レスキューパラシュート 2 タイプ保有（スクエアー及びハイブリッド）
使用目的：リパック検定及び講習時などに利用とする。

教員・スクール事業委員会　　委員長　北野正浩

１）教員実技検定会　4 名（PG2 名、H2 名）

２）教員学科集合検定会(2023.2.19～20 開催。関西（和歌山県 UP PG スクール）と関東(茨城県 nasa スクール)の会場。受検 8 名（PG4 名、HG4 名））

３）上級タンデム技能証検定会(12 回開催（内 HG 1 回））初回合格者が 3 年の期限を迎えたため、初めて継続検定を実施。

４）教員助教員更新講習会　12 ヵ所　68 名
５）レスキューパラシュートリパック認定証更新講習会　12 ヵ所　59 名
６）レスキューパラシュートリパック認定証検定会　11 名
７）教員検定員講習検定会の開催準備（2023.3.2～3 開催）
８）上級タンデムテキストの改訂(タンデム証と分冊の作業があり進捗わずか。来年度持ち越し)
９）教員の資質向上の支援(教員学科検定者のためのオンライン講義と予備講習を実施。教員検定員連絡会議で意見聴取、3 月の講習検定会で議論)

補助動力委員会　　委員長　賀家　慎司

１）安全セミナー実施　　2022 年 10 月 15 日～16 日　石川県塩屋海岸・塩屋地区会館
参加者　合計 21 名（内訳 JHF 会員 7 名、JHF&JPMA 会員 4 名、JPMA 会員 10 名）
届け出先各機関・企業
加賀警察署、加賀消防署大聖寺分署、大聖寺土木事務所、加賀市役所（視察あり）、
北國新聞社加賀支社　取材、記事掲載により一般見学者 10 名以上あり
２）注意喚起
1 好ましい装備でないモータフライト動画配信への注意喚起
2 モータータンデムによる墜落事故での注意喚起
3 墜落クラッシュから発火事故に対し機材取り扱い注意喚起：JPMA と情報共有
4 大磯町住民からのクレームに対処しての飛行モラル注意喚起
5 静岡県 美和の松原での墜落事故の原因究明と注意喚起を兼ねた解説図ホームページ掲載
３）ホームページ　漫画「モーターパラ入門」の文言修正

制度委員会　　委員長　中瀬　誠

１）JHF にかかわる制度の定款、規約、規程、規則などの文書管理
1　理事会諮問事項への答申等
技能証規程改正案作成と理事会上程
JHF 助成金交付規程新規作成と理事会上程
2　JHF ホームページ上の総覧整備(規程改正および FAI 部分)
https://jhf.hangpara.or.jp/office/office.html
２）他委員会および事務局との連携
1 各種制度導入および改正について教員スクール事業委員会と連携
技能証規定改正
・上級タンデム技能証、教員助教員技能証、リパック認定証の有効期限・更新期限について
・上級タンデム技能証　練習方法や高度定義等
2 事務局との連携
・技能証等有効期限について
・委員会委員の解任について

ハングパラ振興委員会　　委員長　井上　潔

１）今飛んでいる人が飛び続けられる環境作り

１フライヤーズボイスの定期更新体制の運用と見直し

・2022.10 「Flyers Voice23　髙橋華恋」

2 飛ぶのを止めてしまった方の状況分析

3 学生が卒業して止めてしまう問題の分析と対応策検討（学連と連携）

4 家族向けパンフレット「ご家族の皆様へ(仮称)」制作、学生向けに配布

5 JHF レポートの活用検討（フライヤーからの投稿記事など）

6 SNS（Facebook 等）を活用した情報発信の検討　→　写真コンテスト検討

7 SportsNavi への投稿

・2022.6.30「パラグライダー ジャパンリーグ第４戦目、今季絶好調の上山が２勝目飾る」

・2022.8.13「10 年ぶりにスカイフェスティバル IN 南陽開催！ 」

・2022.9.8「パラグライダー　廣川が総合Ｖ、女子トップは中目　ジャパンリーグ第６戦 」

・2022.10.29「地元、小梶が完全Ｖ　パラグライディング日本選手権 」

・2022.10.29「日本勢躍進　岩崎、多賀、中目が入賞　パラグライディングＷ杯　韓国戦」

・2022.11.15「ハング・パラ界の大谷翔平、ハンググライディング最終戦でも圧倒！ 」

・2023.1.28「【ハンググライディングシリーズ初戦】大陽初優勝!安定した実力を見せる」

8 PR Times との協力関係締結　→　契約条件確認中

9 一般の方がハング・パラ大会を観戦できる仕組みの検討

２）体験会等イベントへの協力

「新しい生活様式」におけるイベントの模索

３）外部組織との連携

VR 体験に関する大学研究室との協力体制維持

役員選任実行委員会　　委員長　鈴木　由路

１）２０２３年度通常総会における役員選任の準備

２）役員選任規約の改定